

◆目標

命の大切さや自分の体を知り、すすんで健康づくりができる子に育てる。

◆ 専科経営 （ 学校経営計画を受けて専科として重点にしていくことは？ ）

〔方 針〕

- ・ 心と体の健康づくりの推進
- ・ 心身ともに安らげる保健室づくり

〔重点的な取組〕

- ・ 保健室での救急処置の際に、個別の保健指導や必要な支援を行う。
- ・ 「健康の日」の展開を工夫するとともに、健康診断の事前事後指導を充実させる。
- ・ 児童理解を深め、健康相談活動の充実を図る。

◆ 保健室経営 （ 特に大事にすること、配慮すること、継続することは？ ）

○保健室での個別対応

- ・ 児童理解に努め、受容的に丁寧な対応をしていく。
- ・ 救急処置の際に、必要な保健指導を合わせて行う。（生活の振り返りや、保健室に来る前にできる応急手当の仕方、怪我の再発防止について）自立を意識して対応する。
- ・ 症状の背景にも目を向け、教職員間・保護者などとの連携を図り、支援を進める。

○健康教育の充実

- ・ 毎月第一木曜日の「健康の日」の展開を工夫し、児童が心や体に関心を持てるようにする。
- ・ 児童の実態を的確に把握し（健康診断結果や保健室来室状況の統計や学校生活の様子より）、実態に即した保健指導の実施に努める。
- ・ 自己肯定感を育むことができるよう、できていることは認める指導を心がける。
- ・ 自分の体に関心を持ち、進んで健康づくりをしようとする意識を高めるために健康診断の事前事後指導を工夫する。

○ネットワークを生かした保健活動

- ・ 管理職や他の教職員、学校医と連絡を取り合い、組織的に問題の解決にあたるようにする。
- ・ 保護者とも共通理解を図ることができるよう連絡を密にしていく。